

『日学連アゴラ』

本間雅人（東北学生卓球連盟）

はじめまして、東北学連理事長の本間と申します。

自分のことを書くことは過去にないので、少し学連との切っ掛けを書きたいと思います。

私は23歳で母校に奉職するご縁をいただきました。そして柴田幸男先生を学生指導の師として卓球部活動に関わって29年を過ぎようとしています。学連運営は未経験でしたが、5年前から東北学生卓球連盟の理事長をお引き受けしました。学生卓球界に少しでも恩返しができるれば、それにこの年齢でも未熟なうちは多少の成長ができるのでは、との思いからでした。昨年度は全日学選抜が仙台で開催されましたが、多くの方々のご支援とご協力が無事に終わることができました。あらためて、卓球人と皆様方との出会いやこれまでの繋がり
の大切さを考えさせられた機会でした。

人生には多くのかけがえのない出会いがあるものです。学生の皆さんは、自ら他者に関わる気持ち、そして他者と関わることからの素晴らしい経験を積み上げていくことが、この先の人生を豊かにしてくれるものと思います。まさに「自利利他」です。

最後に、東北地区は早くから少子化の影響を受け、東北学連はかなり以前から登録者減少の歯止め対策を講じてきましたが、コロナによって多くの大会が中止となり、より厳しい状態に追い込まれています。視点を変えてデメリットをチャンスとできないものか、と思案してきましたが現実はなかなか厳しいものがあります。早くコロナの影響を受けずに大会が開催できることを願いつつも、微力ながら多くの学生が参加する本来の学生スポーツの姿を取り戻せる策を練っていきたいと思います。